

おじいちゃんへ

私が初めて日本に帰って来た時、「おお！よお帰って来たね、道中きつかったやろ？」と言って門の外まで出迎えに来てくれた時の笑顔は、今でもはきりと覚えてるよ。その後、一緒に魚釣りに行ったり、温泉につれて行ってくれたりして、私はとても楽しかったよ。まだ日本語が全くしゃべれなかった私に、九州弁で「よかばい、よかばい、そん調子で頑張らんね」と言って話しかけてくれたながら、日本語を教えてくれたね。そのおかげで、私が最初に覚えた日本語は、全部九州弁になってしまって、その後大変だったよ。

でも、私が次に日本に帰って来た時には、みんな黒い服を着ていて、悲しそうにしていたけど、おじいちゃんは一人写真の中で笑っていたね。その時私は、「なんでおじいちゃんは、おらんとね？」とおばあちゃんにたずねたら、おばあちゃんは、「おじいちゃんは、一人でお空に行ってしまったとよ」と教えてくれました。

あれから六年経った今、私はこうしておじいちゃんへ日本語で手紙を書ける様になりました。でも、ちょっとおじいちゃんへ手紙を書くのが遅くなってしまっで、ごめんなさい。

もし出来るなら、おじいちゃんに会って、日本語でもっと沢山のお話をしたかったけど、今ではそれが出来ないのです。お空に行ってしまったおじいちゃんへ日本語を伝えてくれて、ありがとうと言おう。思いをこめてこの手紙を書いたよ。

おじいちゃん、本当にありがとう。お空でこの手紙を読んでくれますか。

